

稀少(稀少工芸)／郷土玩具(乡土玩具)

郷土玩具

歴史と特色

城下町金沢では行事や風習とともに、子供たちの夢を育んできたおもちゃや人形が、無名の職人によって心をこめて作り伝えられてきた。

加賀人形は、5代藩主綱紀が京都より人形職人を招き、御所人形の製作修理にあたらせた事が始まりとされている。後に、獅子舞等の姿を写した人形が作られるようになった。

また、張り子で作られた八幡起上りは、八幡様の祭神である応神天皇をうやまう翁が、天皇の御幼体を赤い綿布で包んだ形を作ったのが始まりとされ、七転び八起きの縁起の良さが人々に愛されてきた。他に小型化した加賀獅子頭、もちつき兔や米くいねずみのからくり人形を母体としたものや、竹や布紙で作った旗源平、張り子には干支の起上り、俵牛、犬張子、首振り虎などがある。土人形は大方廃絶し、家の新改築の時の便所の神様がわずかに残っている。

历史和特色

金泽制作有各式各样的玩具。有描绘了狮子舞姿态的加贺玩偶、八幡不倒翁、小型加贺狮子头、玉兔捣年糕和吃米小老鼠的活动偶人、源平旗、用混凝纸模仿动物形态制成的不倒翁、摇头人偶、建新宅房或改建旧宅时埋在卫生间下的土偶神等等。

情報 资讯

主な生産地(主要产地)	金沢市(金泽市)
主な製品名(主要产品名)	加賀獅子頭、加賀人形、八幡起上り(加賀獅子头、加賀人偶、八幡不倒翁)
主な生産者(主要生产者)	中島めんや(中岛面具屋) 〒920-0902 金沢市尾張町2-2-18(金沢市尾張町2-2-18) TEL (076) 232-1818 加賀人形店一晃(加賀人形店一晃) 〒921-8106 金沢市十一屋町13-12(金沢市十一屋町13-12) TEL (076) 241-2951

稀少(稀少工芸)／琴(琴)

琴

歴史と特色

平安時代にはすでに琴の名が使われていたが、現在のような13弦の箏[そう]を琴と呼んだのは鎌倉時代以降と言われている。金沢における琴の製造は江戸時代に入ってからで、武家の女性の教養の一つとして数えられた。

明治以降も女性のたしなみとして城下町金沢の生活に根ざしていた。第2次大戦後、琴の需要は増加しているが、芸術的表現と優れた技術を必要とするため、原木から一貫して製造する業者は少なくなっている。

また、部分的に華麗な蒔絵や螺細を施した楽器であり、美術工芸品でもある。

琴には関東を中心とした山田流琴と、関西を中心とした生田流琴があり、金沢では、山田流琴が主に生産されている。

历史和特色

金泽在江户时代开始了制造13弦的箏。当时，琴艺是武士家庭女子的修养之一。明治以后，琴作为女子的一种爱好而根深蒂于生活当中。施以华丽的泥金画和螺钿工艺的琴，也是一件美术工艺品。

情報 资讯

主な生産地(主要产地)	金沢市(金泽市)
主な製品名(主要产品名)	山田流琴(山田流琴)
主な生産者(主要生产者)	野田屋琴三弦店(野田屋琴三弦店) 〒920-0853 金沢市本町1-8-9(金沢市本町1-8-9) TEL (076) 221-2870